

「暮らし満足No.1のまち」を目指して ～令和7年度見附市の取り組み～

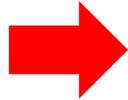
見附市長 稲田 亮

市民からの評価

R6年度 市民アンケート

Q. 見附市は住み良いまちですか？

- ▶ 「住み良い」「どちらかというと住み良い」と回答した人の割合

91.2%  **91.8%**  過去最高
(R4)

- ▶ 「住み良い」「どちらかというと住み良い」と回答した人の割合が

→ 高い年代 ①**50代** 94.9% ②**30代** 94.7% ③**70代** 94.3%

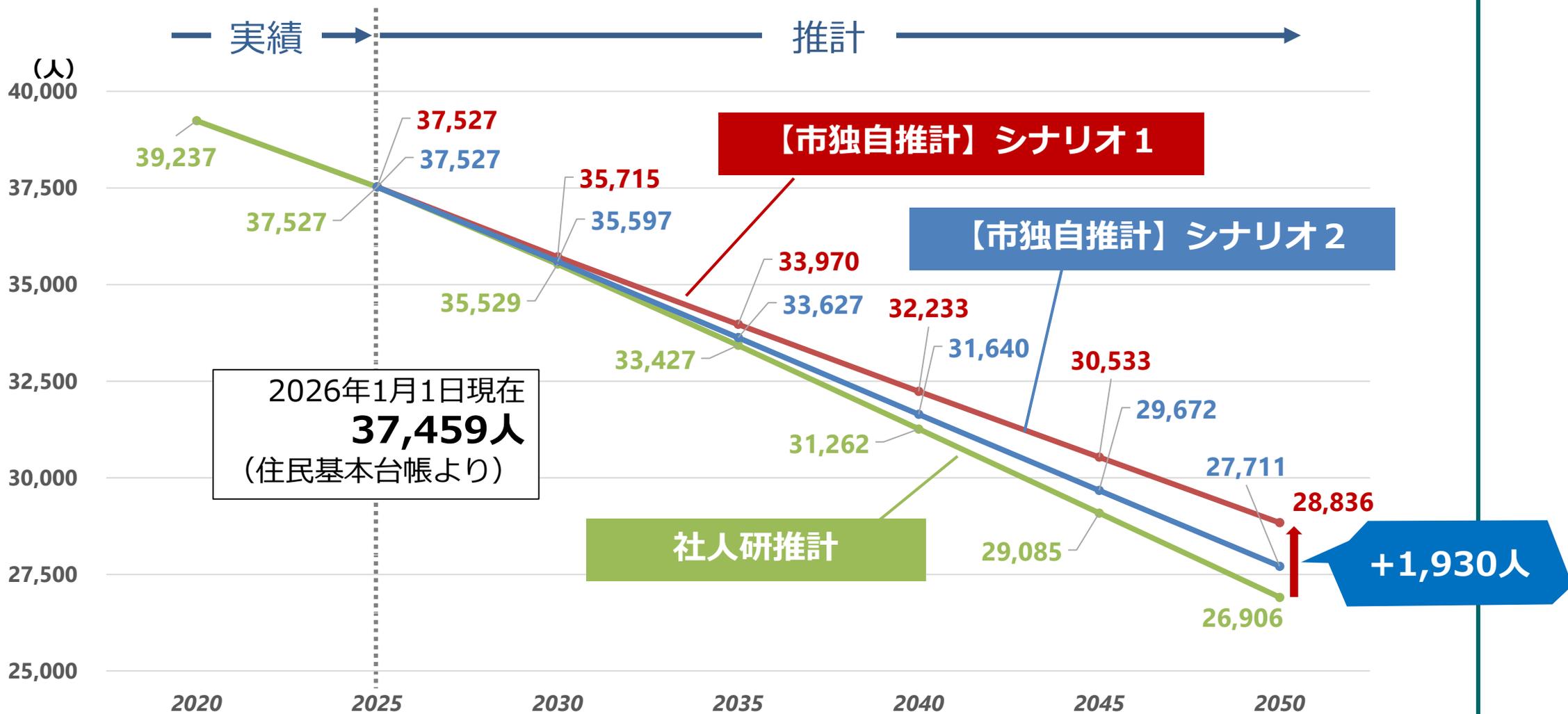
→ 低い年代 ①**40代** 88.0% ②**20代** 90.3% ③**60代** 90.5%

総合計画の策定



- ▶ 総合計画は市の最上位計画であり、R7年度が見直しのタイミング
- ▶ **R7年5月 まちづくり総合審議会** を設置し議論を開始
- ▶ **5月・7月 「みらいを語るふれあい懇談会」** を開催し
多様な立場の市民意見を収集
- ▶ **R8年1月 パブリックコメント** を実施 (30日間)
- ▶ **R8年3月下旬 「第6次見附市総合計画」 策定・公表**

見附市の人口の推計と目標

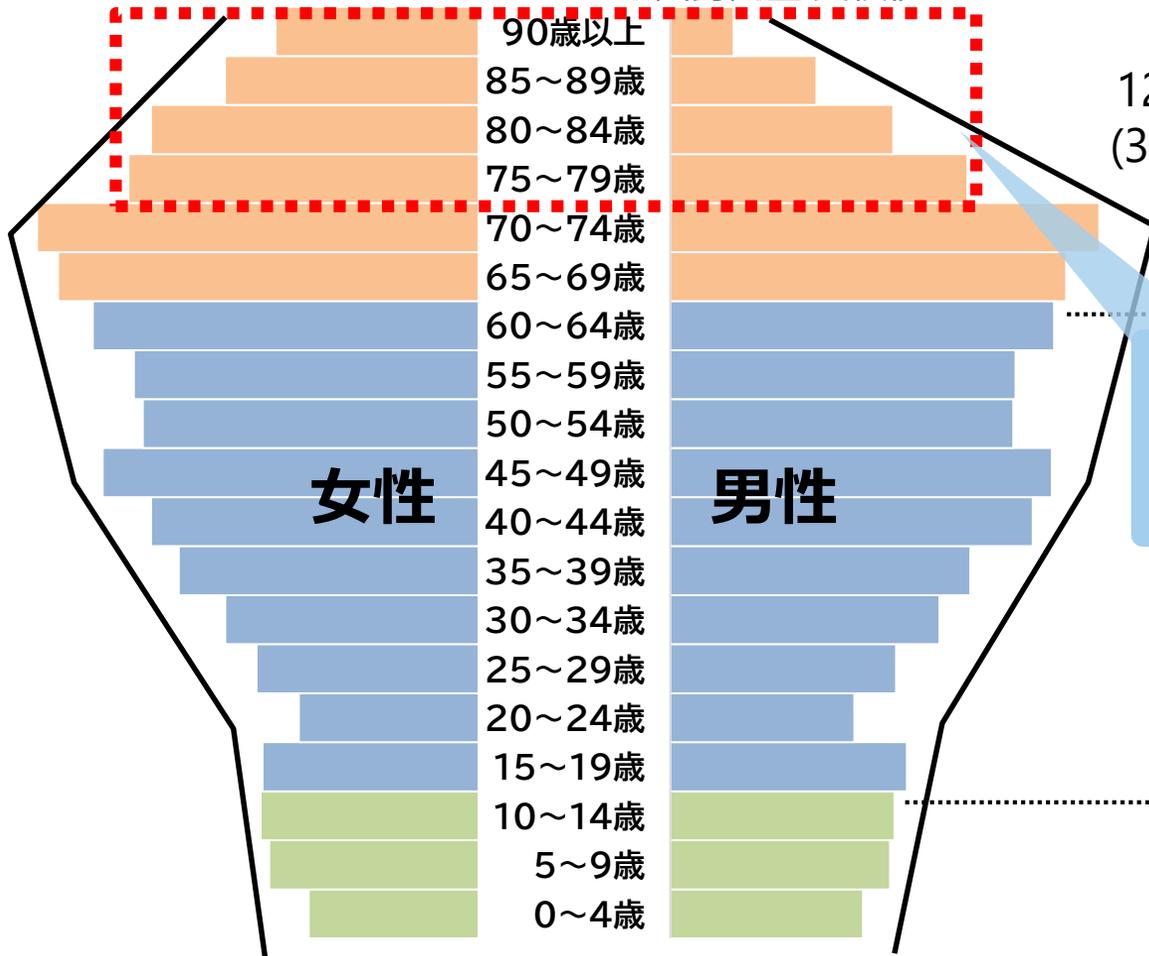


※ 2020年は国勢調査実績値。2025年以降は令和5年社人研推計。

見附市の年齢別人口

2020年度

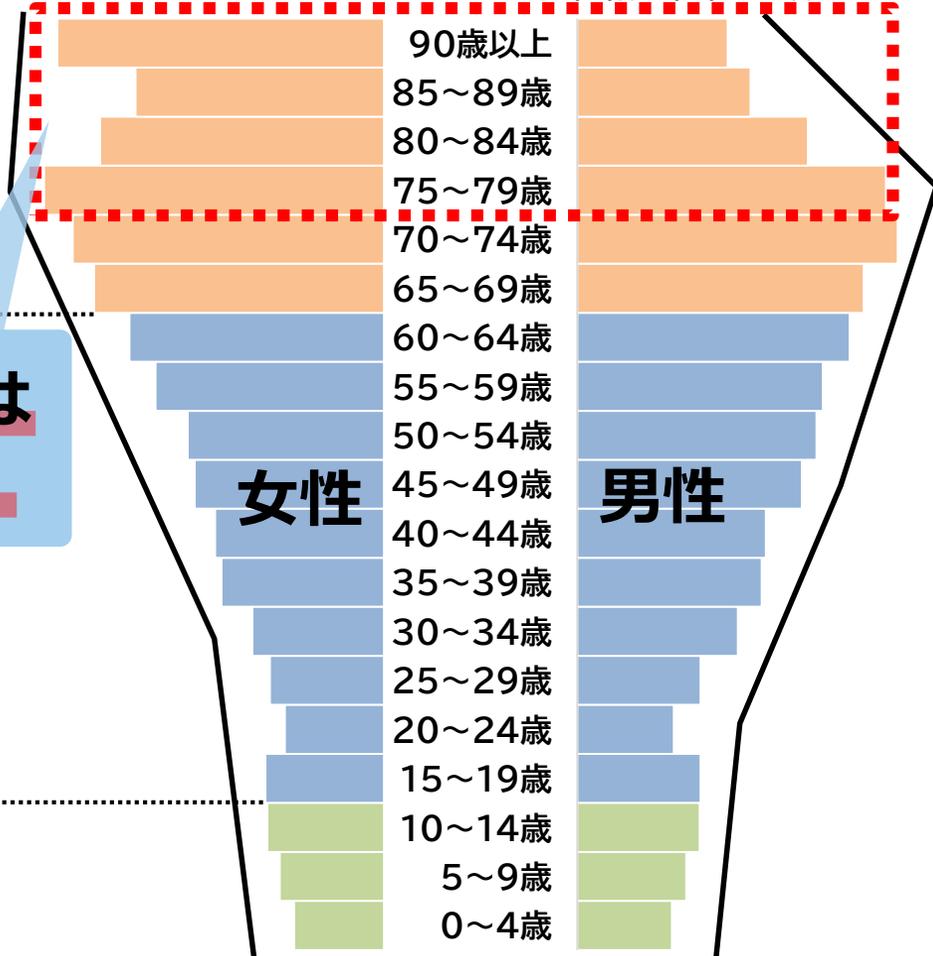
※国勢調査 実績値



39,237人

2050年度 (推計値)

※令和5年 社人研



26,908人

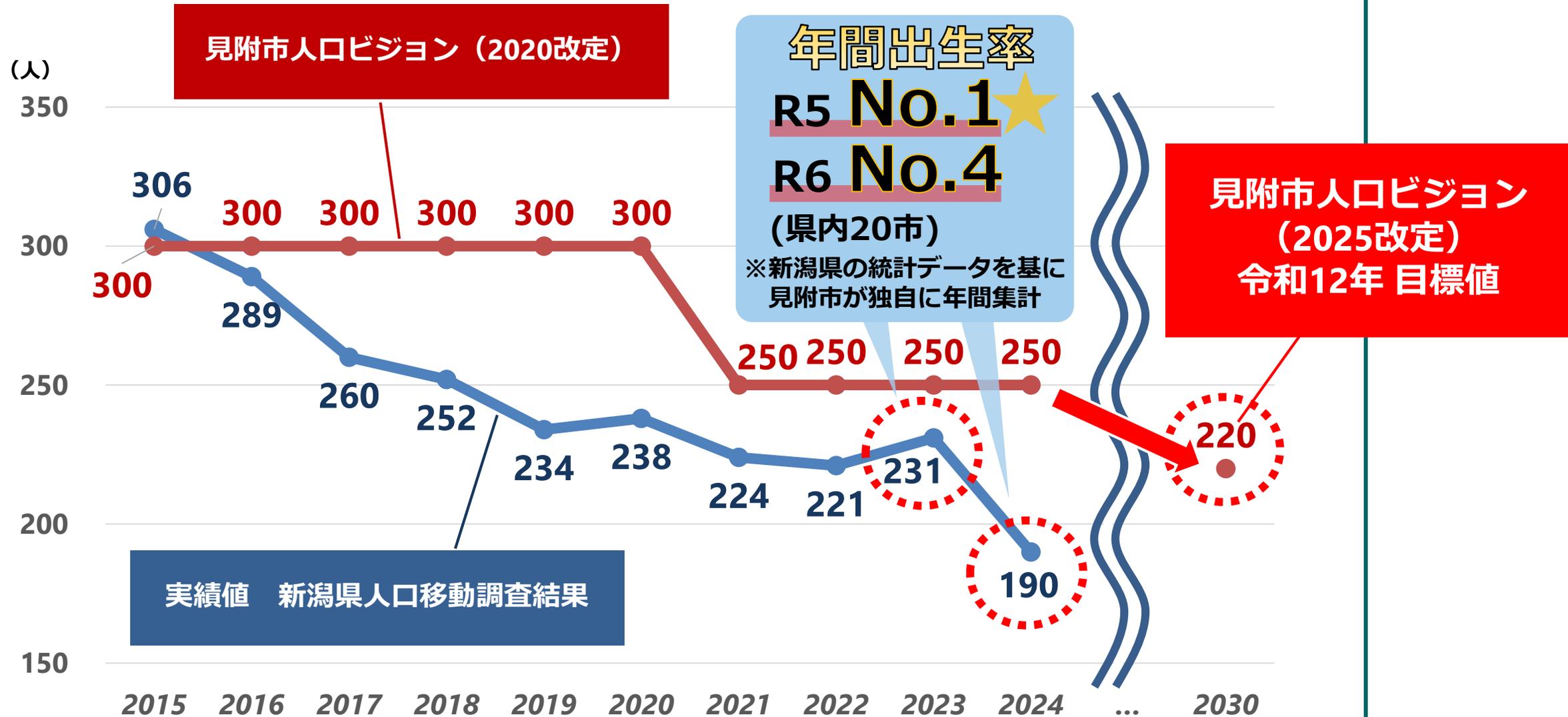
老年人口
12,952 ▶ 11,844
(33.0%) (44.0%)

後期高齢者は
増える傾向

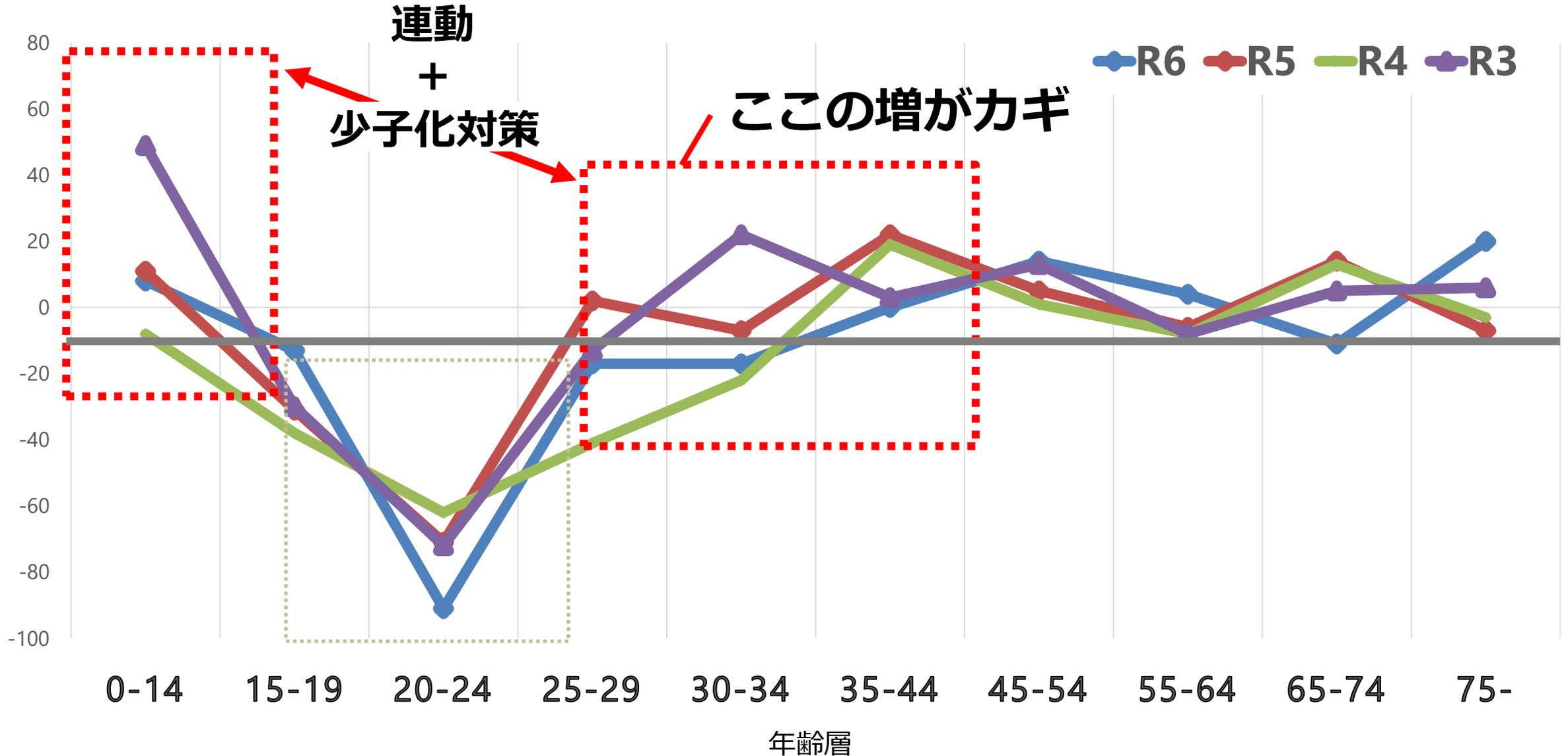
生産年齢人口
21,785 ▶ 12,756
(55.5%) (47.4%)

年少人口
4,500 ▶ 2,308
(11.5%) (8.6%)

見附市の出生数の推移



見附市の年齢階層別の人口移動状況



※新潟県人口移動調査より（前年10月～9月の人口移動の状況）

第6次見附市総合計画（案）

基本構想

基本理念

魅力たっぷり 未来につなげる みんなのみつけ 

みつけの
将来像

笑顔あふれる暮らし満足No.1
ひとつにつながるコンパクトシティ



前期基本計画

基本計画策定に
あたっての

4つの視点

- 現役・次世代を取り込む魅力の創造・発信
- 市民の誰一人取り残さない
- 健やかで幸せな暮らしを支える環境・仕組みづくり
- あらゆる力を結集する

- 【基本目標 1】 活力とにぎわいあふれるまちづくり -産業・地域を元気にして人を呼び込む-
- 【基本目標 2】 未来を担う人を育むまちづくり -こども・子育て・若者を支える-
- 【基本目標 3】 安心していきいき暮らせるまちづくり -市民の福祉と安心を確保する-
- 【基本目標 4】 未来に向けた持続可能な市政運営 -安定的な行財政経営-

① 活力とにぎわいあふれるまちづくり

▶ 見附への移住・定住の促進

- ▶ 民間事業者との連携による **移住戦略 策定 (R6)** → 新たな **移住PRサイト**等による本格的なプロモーション展開 (R7)

ニーズに合わせてご提案

- ▶ **オーダーメイドツアー**・**お試し移住拠点**との連携
- ▶ 市民からの声掛けによる移住への支援
- ▶ **ウェルネスタウン**の価値を可能な限り保ちながら**販売を加速**

▶ 見附での結婚の促進

結婚支援・新生活支援

- ▶ 県マッチングサービスの登録支援 **+** 新たな**伴走型支援**を実施
- ▶ 市内での新婚世帯の新生活支援

→ **見附に住む・見附で子育てする人を増やす**

① 活力とにぎわいあふれるまちづくり

▶ 交流人口の拡大

▶ スポーツツーリズム

- ▶ 合宿などの来訪者へのおもてなし
- ▶ 女子野球大会への支援



▶ 長野・新潟ガーデンロード

- ▶ 民間事業者によるツアー実施
- ▶ 構成施設等との連携



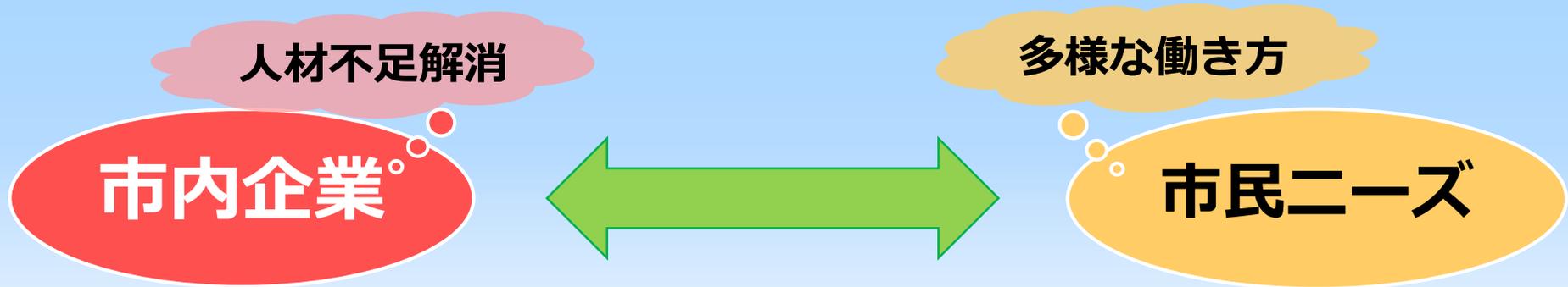
▶ 関係人口の拡大

- ▶ 東京でのMITSUKE Meet upの開催
- ▶ 見附さぽーたの加入促進、30歳の大同窓会
- ▶ 県立見附高校の特色化・魅力化の支援



① 活力とにぎわいあふれるまちづくり

▶ 産業振興と人材確保



ITを活用した**マッチング**によって

- ▶ 双方の課題を解決
- ▶ 地域経済を活性化

- ▶ 子育て世帯への **みつけ子育て応援券** の配布

▶ 農業振興

- ▶ 農業者 **若手の会**・**女性の会** の立ち上げ
- ▶ 水稻用機械等導入のための「**若手農業者経営開始支援**」

- ▶ 将来を担う若手農業者の参入や継承・育成

見附市公式

単発
お仕事
探しサイト

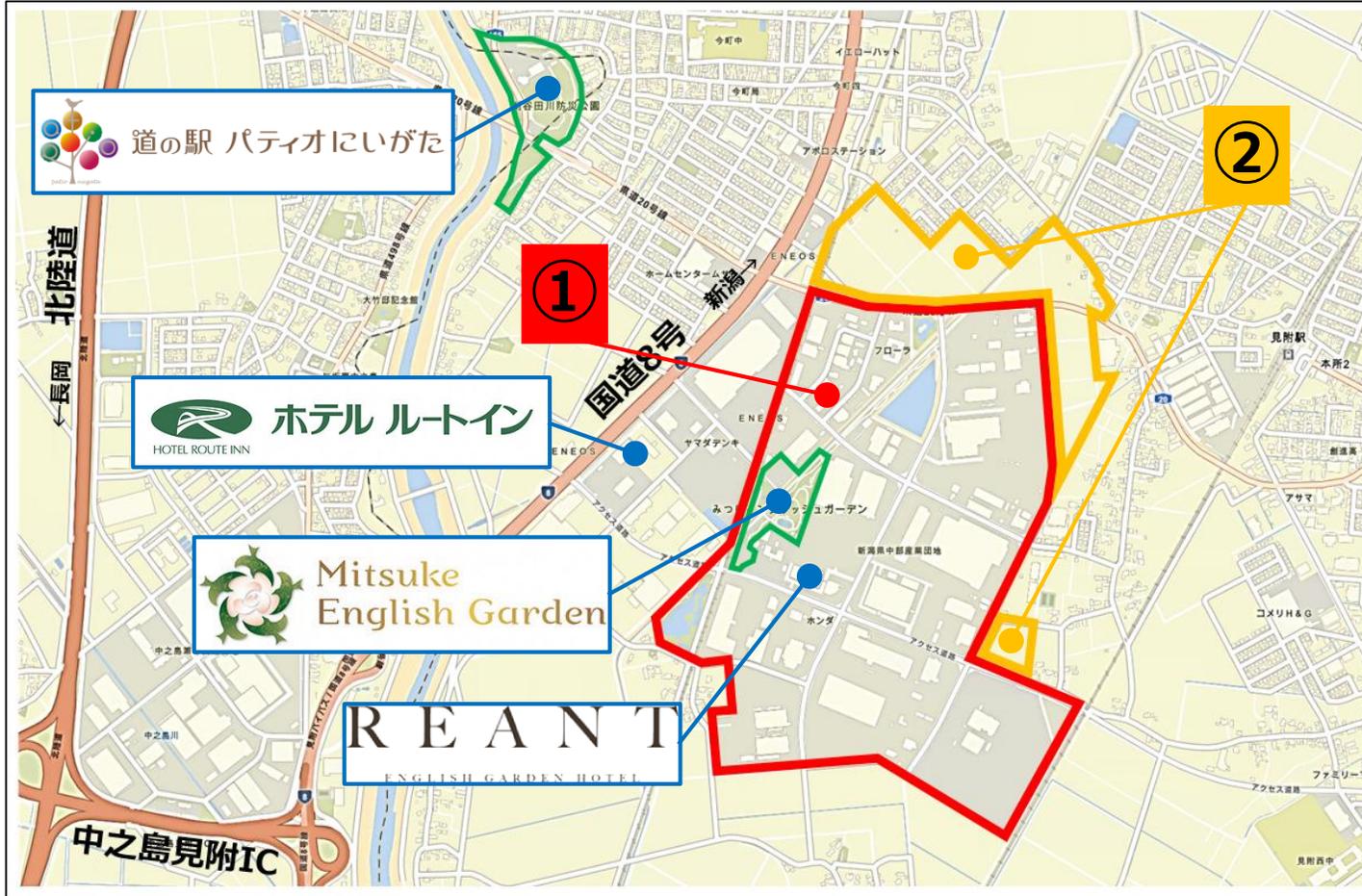
空き時間を活用し、
自分のライフスタイルに合った
仕事を見つけよう!

みつけマッチボックス



① 活力とにぎわいあふれるまちづくり

▶ 企業立地環境の整備



① **新潟県中部産業団地**
平成29年6月 完売
進出企業 54社

② **都市計画見直し (R5年6月)**
中部産業団地
周辺部約19haを
工業区域に編入

国の制度を
活用

③ **重点促進区域認定 (R7年6月)**
2か所を設定

- ▶ 中部産業団地周辺 (上新田)
- ▶ 見附工業団地周辺 (芝野)

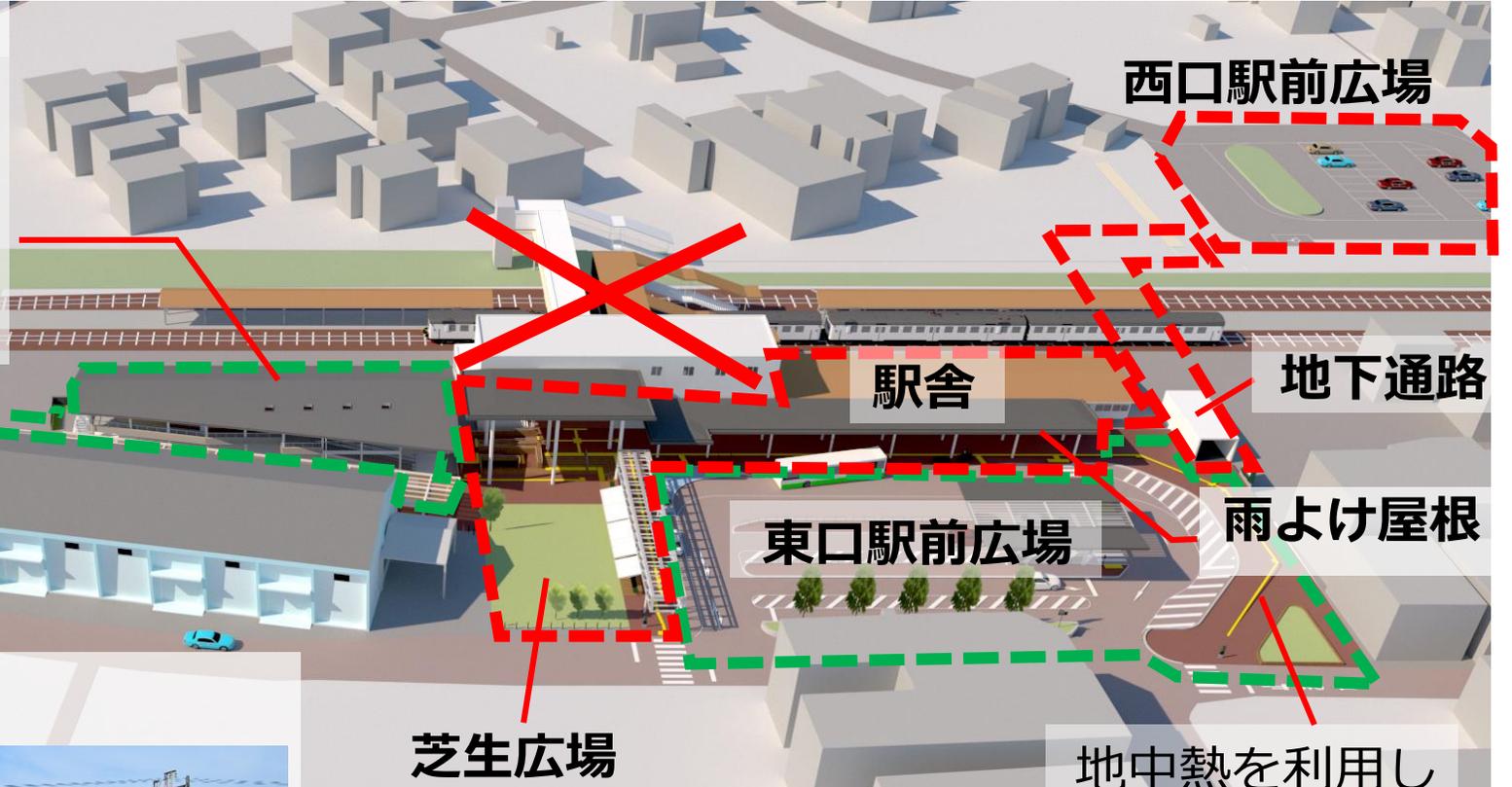
➡ **産業用地の確保により更なる企業誘致を推進**

① 活力とにぎわいあふれるまちづくり

▶ 見附駅周辺整備事業

交流拠点 MITSUKERU

駐輪場2階を
リノベーション
(R6.5月オープン)



コインパーキング



 前期計画(～R6)範囲
 後期計画(R9～)予定範囲
※R7～R8は後期計画内容の検討

① 活力とにぎわいあふれるまちづくり

▶ 地域の交通環境の充実に向けて



課題

✓ 夜間帯の足の確保

✓ 郊外地域における足の確保

経済活性化

地域活性化

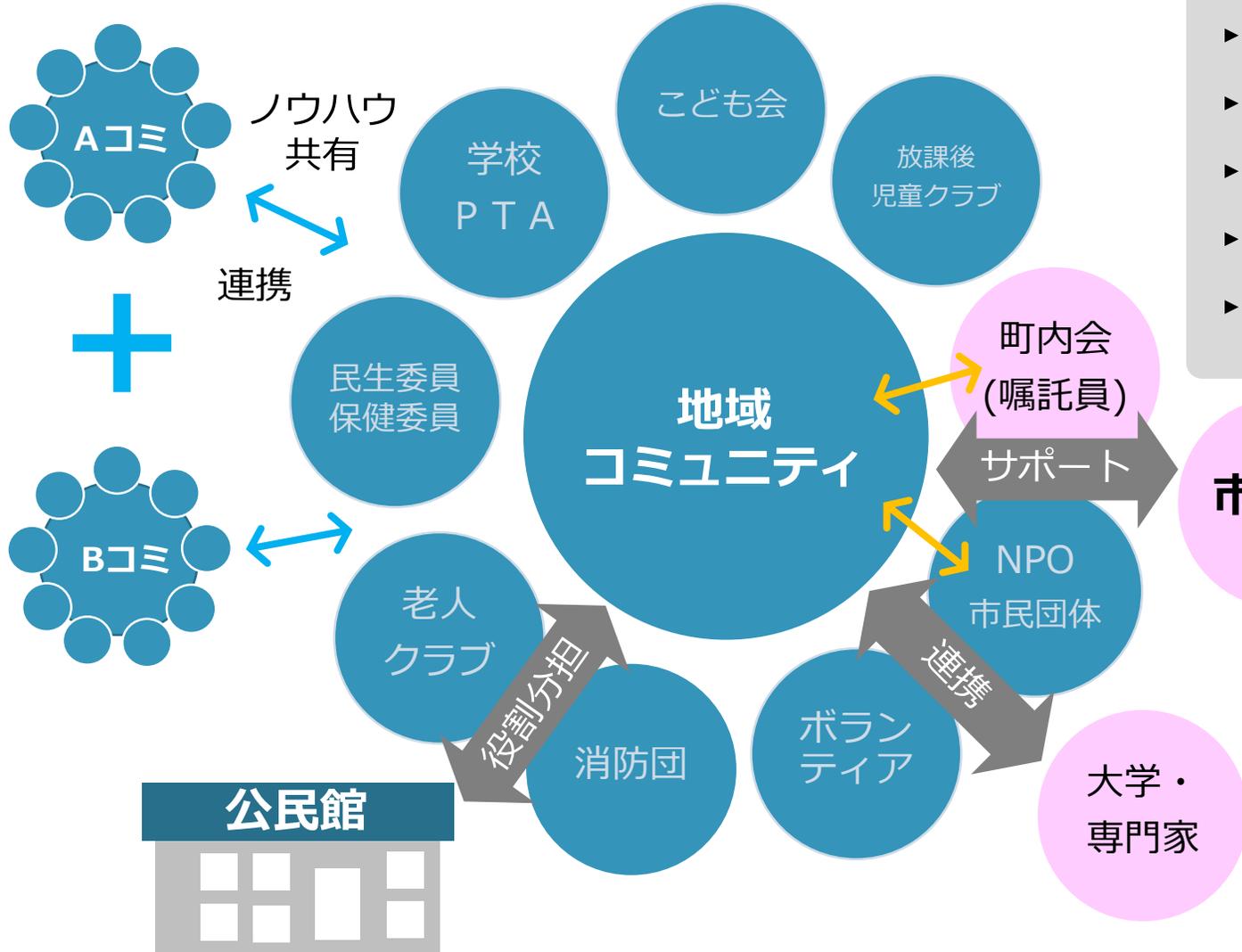
- ▶ ジャンボタクシー夜間運行（ナイトコミタク）の社会実験
- ▶ バス・タクシー会社への第二種免許取得支援
- ▶ デマンド型乗合タクシーのあり方
- ▶ コミュニティワゴンの活用



ライドシェアの議論もふまえ 公共交通のあり方を検討

① 活力とにぎわいあふれるまちづくり

▶ 地域コミュニティの活性化



地域課題の解決に向けた取り組み例

- ▶ こども ▶ 居場所の創出
- ▶ 高齢者 ▶ 見守り支援
- ▶ 防災 ▶ 防災訓練、市民啓発
- ▶ 移動支援 ▶ ワゴンの積極活用
- ▶ 多世代交流 など

市役所

市の支援の取り組み

- ▶ 担当職員の増員
- ▶ 事業提案型交付金 (チャレンジ枠) の継続
- ▶ 情報やノウハウの提供
- ▶ 各種連携の調整 など

① 活力とにぎわいあふれるまちづくり

▶ 市民活動・ボランティア活動の推進

- ▶ 市内には約**100団体**の市民団体が活動
- ▶ **市民力・市民活動の力**が見附の大きな自慢



▶ 持続可能な活動体制の構築に向けて支援

- ▶ **市民活動支援補助金** 補助率の見直し
 - ➔ 活動をスタートしやすい環境を整備

▶ 新たな市民活動拠点の整備

- ▶ 旧医療施設の有効活用（1F部分を改修）
 - ➔ **市民活動支援センター まちなかBASE**みつけ
- ▶ 社会課題解決に向けた活動、各種団体の窓口機能確保をサポート



▲イングリッシュガーデンの植栽等を行う「ナチュラルガーデンクラブ」

R7.6月オープン

② 未来を担う人を育むまちづくり



Pick UP

Q. 見附市の子育て環境について、どの程度満足していますか？

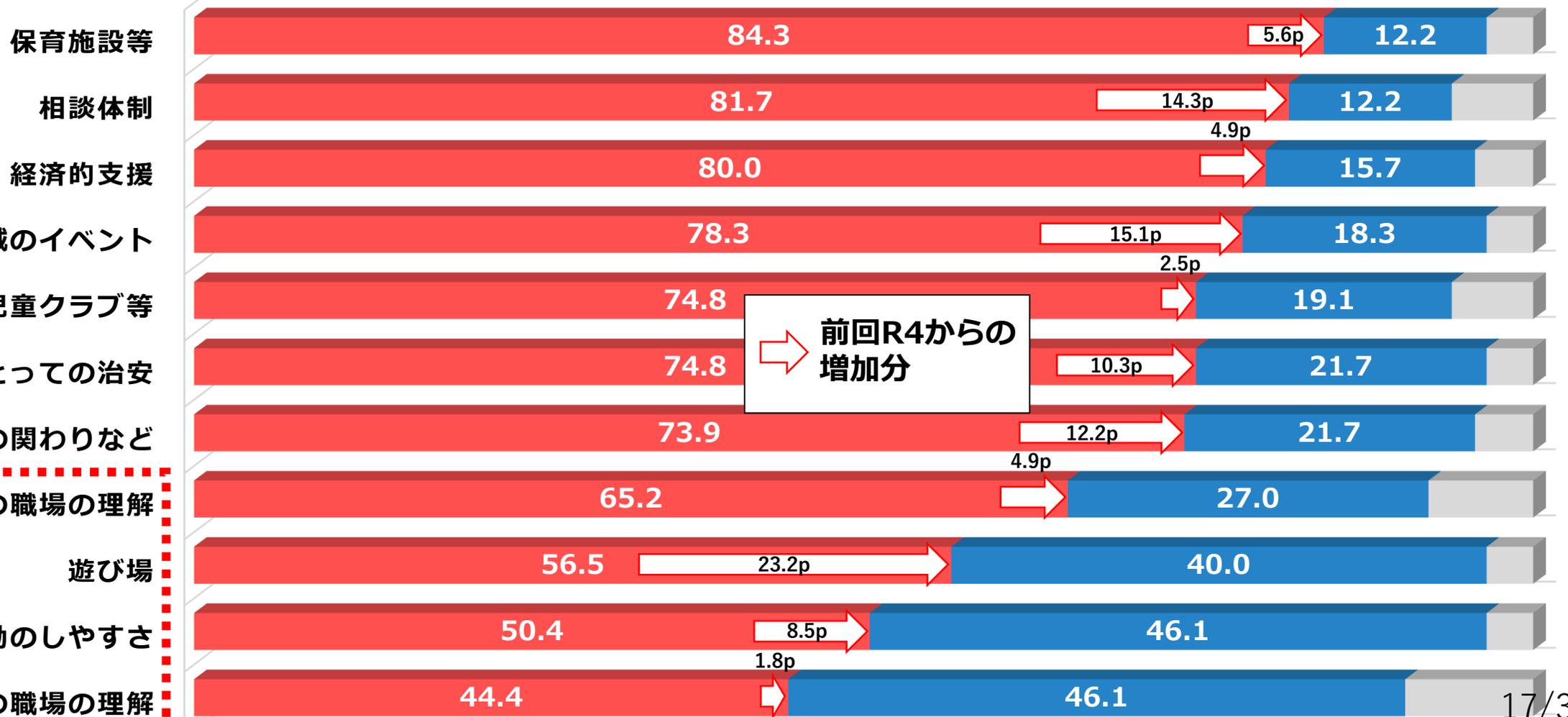
■ 満足+やや満足

■ 不満+やや不満

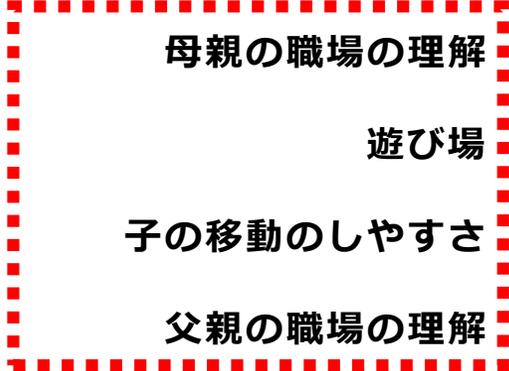
■ 無回答

(R6 市民アンケートより、子の同居ありの回答者を集計)

(%)



⇒ 前回R4からの増加分



② 未来を担う人を育むまちづくり

▶ こども・子育てを“どまんなか”へ

R6.3月制定

▶ 「見附市こども・子育てどまんなか条例」

- ▶ こども一人ひとりが見附の宝
- ▶ 地域や企業を含め みんなでこどもや子育てを支える
- ▶ こどもをどまんなかにした子育てのできる地域社会の実現



- ▶ **子育て世帯が住みたい、住み続けたいと思える見附をみんなで作る**

▶ 子育て・出産の負担軽減

- ▶ 「**みつけ子育て応援券**」配布による子育て世帯の経済的支援
- ▶ 保育料の減額、第3子以降**1・2歳児 全額公費負担**、**第2子1・2歳児 半額公費負担**
- ▶ 新たに**宿泊型産後ケア**を実施、子育て支援の**オンライン相談体制**を整備

② 未来を担う人を育むまちづくり

▶ 子育てしやすい職場づくり

- ▶ 仕事と子育ての両立支援に取り組む企業を後押ししたい ↷ 人材確保効果も
- ▶ 県の「**ハッピー・パートナー企業 パパ・ママ子育て応援プラス**」認定事業者に市からも支援 ※市内企業の認定事業者：27社（R7年4月現在）

男女共に働きやすく、仕事と家庭が両立できる職場環境づくり等に取り組む企業

R5 スタート!

- ▶ 奨励金交付（100千円/件） → R5年度 10件、R6年度 9件
- ▶ 従業員に育休取得させた場合に助成金交付（50千円/件）
R7～ 全従業員対象 → R5年度 6件、R6年度 3件
- ▶ 既存の設備投資補助に上乗せ（上限200千円/件）
→ R5年度 1件、R6年度 2件



- ▶ 見附市役所における先導的な取り組み

② 未来を担う人を育むまちづくり

▶ 見附で育てたくなる教育活動の充実

- ▶ **みつけJobチャレ教育** ～ 「起業家精神」「起業家的資質能力」の育成
小・中・特別支援学校で官民学が連携し起業体験や出前授業、
アイデアコンテスト等を実施

+ **Jobチャレ図鑑**を作成 (R7)

- ▶ 他者と協働しながら
新しい価値を創造する力を育成
- ▶ 将来的な見附での起業・創業も期待



- ▶ **ライフデザインセミナー** (中学生対象)

さまざまなライフイベントに向けて、知識を得て、考える機会を提供

進学

就職

結婚

育児

ワークライフ
バランス

など

不登校への
対応を強化

- ▶ 新たに「**スクール・ソーシャル・ワーカー**」を配置 (R7)

② 未来を担う人を育むまちづくり

▶ 公立小中学校のあり方についての検討

背景

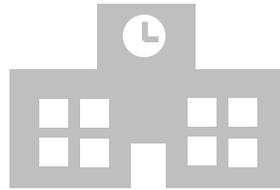
学級数や児童生徒数の減少、偏在

小学校

小規模校の取り組みへの評価の一方で、保護者からの不安の声も

中学校

中学校2校 老朽化に伴う大規模改修の予定



- ▶ **R5** 子育て世代を中心に市民の声を聞く**タウンミーティング**開催
- ▶ **R6** 学校の適正配置などの教育環境を議論する**検討委員会**の開催

➡ 3/19答申

- ▶ **R7** アンケート等による市民ニーズの把握、
「**小中学校適正配置計画案**」を策定

➡ R8年3月ごろ 「小中学校適正配置計画」策定・公表

② 未来を担う人を育むまちづくり

▶ 見附市学校適正配置計画（案）

▶ 小中学校再編にあたっての考え方

1. 共創郷育を大切にし、コンパクトな見附市の良さを活かした学校配置等
2. 見附市のこどもとしての一体感を育むことにつながるような教育環境
3. 小規模で特色ある教育を受けることができる環境の整備



▶ 再編案

R12 3校・R15 2校

中学校

- ▶ 既存校舎を活用しながら段階的に統合を進めて 令和21年度以降に **1校に再編**
- ▶ 加えて多様な学びの場に 配慮した学校配置も検討

小学校

- ▶ 令和9年度に相互オープン化
令和11年度に **6校に再編**、将来的には **4～6校への再編**を検討



安全・安心に学べる教育環境づくりに配慮

心身負担ケア、交通手段の確保、特別教室・体育館の空調整備等

② 未来を担う人を育むまちづくり

▶ 中学生のスポーツ・文化活動の選択肢の確保

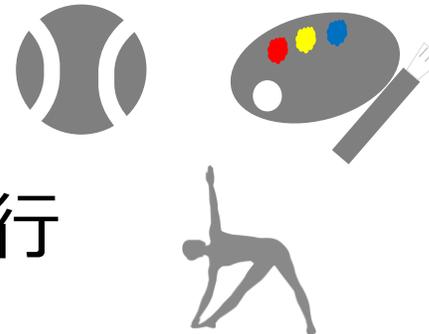
背景
(中学校部活動)

- ▶ 少子化による活動メニューの縮小
- ▶ 生徒の活動ニーズの多様化
- ▶ 教員の業務負担増

部活動の地域展開 + 活動体験の機会提供の一体的な取り組み

- ▶ スポーツ系種目の拡大
休日の受け入れ先となる団体へ活動を委託
- ▶ 文化系種目の開始
- ▶ 既存の部活動にない活動機会を提供するわくわく体験型事業の試行

R6実施種目
ソフトテニス、卓球、
野球、バレーボール



② 未来を担う人を育むまちづくり

▶ 活動・居場所・遊び場の充実

▶ プレイラボみつけ・MITSUKERU

R5.7月オープン

R6.5月オープン

▶ こどもたちの移動手段の一環として コミュニティバスを**中学生以下無料化**

R5.7月スタート



- ▶ コミュニティワゴンの活用による
プレイラボみつけ送迎実施に向けた検討
- ▶ パティオにいがたでの
大型遊具の導入を検討

こどもや保護者の
ニーズをもとに
ふるさと納税の一部を活用



③ 安心していきいき暮らせるまちづくり

▶ ソフト面の防災体制の強化

▶ 高まる災害リスクへの対応

市

多様な情報発信・
避難所の運営 等

市民の皆様

「自分ごと」
で考えて行動

地域・市

避難困難者を
支える



▲平成16年の
7.13水害の様子

メール,SNS,
電話音声(高齢者)
の活用

市公式LINE
の登録拡大

市職員OBの協力

市民への啓発

地域コミュニティや町内
での取り組み・啓発

支える取り組み

要支援者個別避難計画
外国人避難対応

▶ 総合防災訓練 一層効果的な実施方法を模索

▶ 全市一斉での一時避難

+ 重点地区での指定避難所の立ち上げ・運営等

③ 安心していきいき暮らせるまちづくり

▶ ハード面の防災体制の強化

▶ 地震



- ▶ 木造住宅の耐震化に向けた補助の拡充（上限額の引き上げ）
- ▶ 吊天井の耐震化 中央公民館で工事
- ▶ 下水道などのインフラの耐震化、老朽化対策
管路の点検、老朽管の更新・耐震化を継続



▲能登半島地震被災地の様子



▲R7年2月 下水道管緊急点検



- ▶ 水害 貝喰川改修による浸水対策（県事業）
早期完了に向けた遺跡発掘調査の加速化



- ▶ 雪害 持続可能な除雪体制の整備や消雪パイプの維持管理

③ 安心していきいき暮らせるまちづくり

▶ 見附市のまちづくり SWC ～誰もが健やかに幸せに暮らせるまち～

外出したくなる魅力的な施設を市街地（3地域）に集約し
各地をつなぐ公共交通網を整備



自家用車に頼らず歩いて移動
人との交流や歩数も増加

▶ 運動事業の無関心層への取り組み

- ▶ 健幸アンバサダーによる
口コミ効果・勧奨はがき発送
- ➔ 参加者の確保へつなげる



健康運動教室 約1,000人参加
健幸ポイント事業 約2,000人参加

➔ 参加者の歩数の継続的向上

➔ 医療費・介護給付費の抑制

③ 安心していきいき暮らせるまちづくり

▶ 住んでいるだけで健やかで幸せに暮らせるまち

「スマートウェルネスみつけ」を

高齢者だけでなく若者や女性、こどもたちにも

- ▶ **高齢者お出かけ応援券** 市内公共交通の利用をともなった外出を促進
- ▶ **健幸ポイント事業** 交換率等の見直しにより持続可能な形で事業を継続

連携

▶ MUM UP PARK by 健幸スマイルスタジオ



- ▶ 妊娠・出産を機に心身の不調が現れることも…
- ▶ 子育てでママ自身の健康が後回しになりがち



R5年9月からネーブルみつけ内
子育て支援センターで開始！

妊婦さんやママの健康づくりや子育て不安の解消へ

対面
+
オンライン

筑波大学監修
プログラム

運動を通し
心身リフレッシュ

専用アプリで
健康状態把握

出産・子育て
情報交換

参加者に
健幸ポイント付与

初回無料体験実施中！

③ 安心していきいき暮らせるまちづくり

▶ スマートウェルネスみつけ の取り組み



▶ 地域医療体制の充実

- ▶ 診療所の新規開業に向けた積極的な誘致
重点5科目の開業に上乗せ支援(R4~)

内科 小児科 整形外科 精神科 産婦人科



R5年4月 新町に3医院が新規開業
(小児科、内科、精神科)

➡ さらなる誘致を展開

- ▶ 市立病院の医師確保に向けた獨協医科大学との連携
卒業後の市立病院での勤務を条件に返済が
免除される奨学金の貸与

R7年度 2人目



③ 安心していきいき暮らせるまちづくり

▶ 誰も取り残さない社会の実現

▶ 障がい者施策の充実

- ▶ 「見附市障がいを理由とする差別のない
だれもが共に暮らせるまちづくり条例」



R7.3月制定

➡ 障がいを理由とした差別の解消や共生社会の実現を目指す

Pick UP

障害福祉サービス
事業費は増加傾向

	R2年度	…	R5年度
事業所数	約1.15倍	35事業所	40事業所
サービス費	約1.28倍	720,799千円	920,486千円

- ▶ 障がい者の活動機会創出のための新たな支援制度を創設
- ▶ 障がい者雇用促進に向けた企業向けセミナーを引き続き実施

④ 未来に向けた持続可能な市政運営

▶ ICTを活用した市民サービスの充実

▶ 市公式LINEの導入

R5.11月 スタート
友だち募集中!



関心のあるジャンルや居住場所に応じた内容をプッシュ型配信

ごみ収集日のお知らせ

子育て関連情報

防災情報

イベント情報

- ▶ HPや緊急情報メール、SNSなど ICTを活用した効果的・効率的な発信
- ▶ 配布物の電子化による負担軽減

R6.11月 スタート

▶ 市民窓口 来庁予約受付（ファストパス）の導入

▶ 子育て応援カードの電子化 **市公式LINEを活用**

▶ 公共施設予約システムのキャッシュレス決済対応 等

④ 未来に向けた持続可能な市政運営



④ 未来に向けた持続可能な市政運営

Pick UP 中長期財政見通し

多くの年度で歳出超過の見込み

	R5 実績額	R6 実績額	...	R13 見込額	R14 見込額	R15 見込額	(円)
市の基金増減額		▲ 72百万	...		▲ 6億74百万	▲ 7億 5百万	
市の基金残高	43億76百万	43億 4百万	...	33億73百万	26億99百万	19億94百万	

将来的には楽観視できる状況にない

▶ 今後の取り組み

▶ 歳入確保

地場産業の活性化や企業誘致、ふるさと納税、公共施設利用料の見直しなど

▶ 歳出見直し

事業の内容や計画の検証、ICTを活用したサービス効率化による経費削減など

▶ 公共施設等最適化

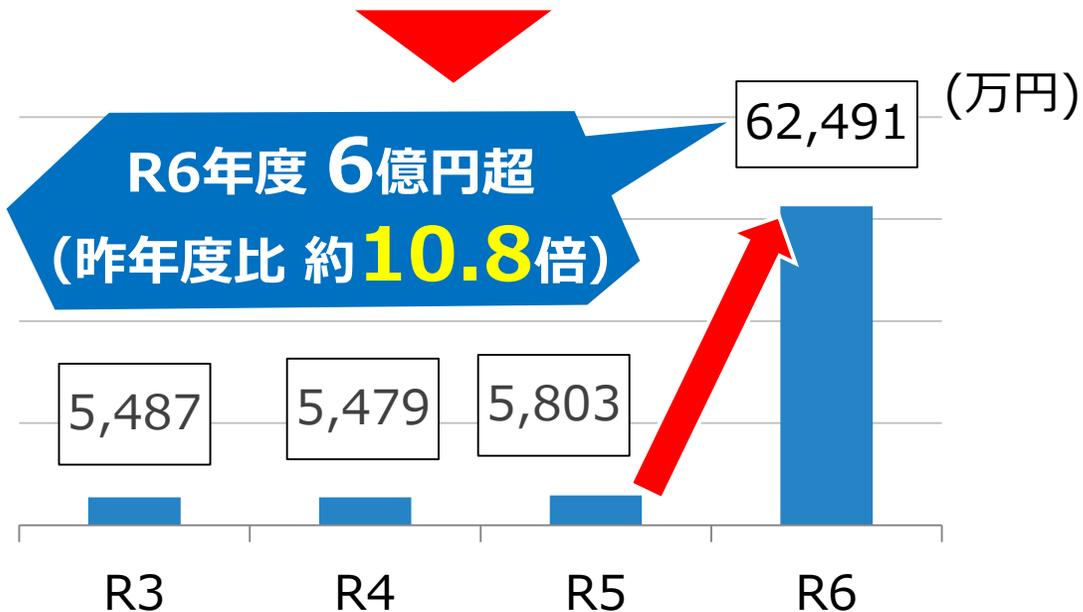
集約・複合化や運営方法見直し、民間活力の導入、施設の再編や有効活用の検討など

➡ **課題解決に向けた新たな取り組みへの財源を確保**

④ 未来に向けた持続可能な市政運営

▶ ふるさと納税の強化

- ▶ 市内事業者の**事業拡大支援**や**返礼品の開発**
- ▶ 寄附額の増加に向け**専門事業者**に業務を委託



- ▶ 人気返礼品の**米の安定確保**
- ▶ **新たな返礼品の開発**



おわりに



地域や時代のニーズをとらえた施策をボトムアップで形成

みんなでつくる

暮らし満足No.1のまち